



實語童子二教舊未尚行而所以教訓於童
蒙之書也為其書也以五言而句局之蓋梵
書伽陀之一體也或標撫乎經論之要辭或
蒐輯乎聖賢之危言能仁律語仲尼庭訓頗
在茲矣可謂頑魯趣學路之司南幼童免塗
炭之絀纜也夫以千里之行始於發足萬丈
之山成於一篲縱使雖此卷野語之書載道
之器也奚可忽諸茲紀躬淨福寺覺賢惠空
和上其先能躬之人姓木曾氏民部鄉某裔



〒165 東京都中野区白鷺1丁目31-5
鷺宮学園幼稚園

也自髫髻之年聰敏過人焉洎十有餘歲早
就於族兄善覺正惠和上時習軒而學佛儒
之二道照照乎探鈞於釋教之玄蹟且世典
九流亦莫不涉獵焉越年二十四之夏俄然
悟舊宗不契當佛理而遂登比叡山入台宗
門猶亦逢于權僧正大和尚位憲海而聞顯
密之教法受圓頓之大戒所謂卓然梗正不
偶時流其志確乎不拔也予去歲之春訪彼
和上曲肱亭和上謂予我昔年志學之日得

三餘之暇而為實語童子二教形註解之詞
未果而已矣故徒執敝袂兮蛛網繚之耳予
取而觀之援引書典幾一萬卷文理易曉諺
解易讀寔是二教雙翼也僅十有五歲而作
為之顧其奇矣雖然藏諸書囊之中不傳未
聞之人如衣錦夜行可勝惜哉冀投之予手
須授梓工行後代而已和上聞而諾焉予退
而書寫於二編註解改片假字作平假字間
亦竊附已意而補之晦朔屢更二卷遂就嘍

予管見俚語為之綴緝也非管不免亂苗之
 妄續紹之僭殆惠空上人之罪人也雖然識
 勸於天下后世之童蒙則愚昧之筆耕豈固
 辭哉因述一序以弁卷首云曾寬文己酉孟
 冬朔且招月亭孤峯識

美談及後記

此の事とほらに三つのもうありひまのうは作ふ
 とひやうらんしふらまは題の名とほ報く三つ
 むらな文と細抄をもとめよ作ふとひやうらんまは二
 の判ひいふと作ふは海びくくは世にほふていふ
 びまは弘法大師の作なりとの判らるる秘府蔵三教指
 権靈集等とほらにほふまはむらけらたはとこら
 ふまは文とこらにたびくくもを家理あさうの形と
 こらあまは弘法の作なりあまはきうとこらふ説ありこれ
 とも報のひとみらびんあまはまのめられん志わんこ
 ぶなまはあまは弘法大師の作なり元亨釈書此一の中まは
 くありまは二と題の名とほ報くはまはたは海とこら

賢者李贄は、傲に處て、辱をばうと、これ身あるの、小肥、さう言ひ
と、史書、小のせ、これと、色、身、れ、急、さ、う、り、て、聲、質、の、名、紙
う、れ、あ、す、い、あ、く、荒、麻、高、湯、文、武、周、公、孔、子、は、は、れ、れ、も、身、乃
こ、急、さ、う、め、し、名、あ、る、は、何、さ、ず、さ、あ、智、恵、の、あ、ら、り、れ、さ、う、り、れ
儀、孔、子、の、み、り、も、何、さ、ず、さ、あ、り、れ、れ、も、亦、典、子、は、智、と、ん、は、ら
も、さ、う、り、れ、さ、う、り、さ、あ、り、か、ら、づ、い、ふ、又、さ、れ、は、身、も、れ、と、さ、う、り、れ
し、智、と、あ、ら、り、れ、れ、又、は、た、た、智、と、ん、さ、う、り、れ、と、す、也、その、孔
細、へ、り、く、元、亨、釈、事、の、字、は、ま、ま、智、と、ん、さ、う、り、れ、と、す、也、その、孔
荀、子、曰、是、是、非、非、謂、之、智、雲、峯、胡、氏、曰、智、則、心
之、神、明、所、以、妙、衆
理、而、宰、萬、物、者、也

富は一生の成 身滅而共滅

智は萬代の成 命終即隨之

富は、是、一、生、の、成、と、ん、富、と、ん、重、張、さ、い、や、う、お、は、く、さ、う、の、
へ、あ、る、人、と、い、ふ、さ、り、海、邊、の、皇、侃、が、疏、は、成、是、富、と、い、ふ、を
あり、重、張、衣、食、小、た、ん、ぬ、し、て、さ、あ、り、さ、う、り、れ、も、あ、る、人、同
一、生、の、た、ん、さ、う、り、れ、と、い、ふ、を、身、命、滅、と、い、は、れ、成、を、
ら、せ、て、さ、あ、り、れ、れ、は、い、ゆ、ら、ぬ、さ、う、り、れ、と、い、ふ、來、世、の、体、と、さ、う、り、れ、
く、ハ、智、恵、さ、う、り、れ、か、い、ふ、は、法、師、の、戒、を、戒、定、直、れ、と、さ、う、り、
り、か、ら、ず、心、を、智、恵、と、り、て、さ、あ、り、れ、と、い、ふ、は、ち、ら、と、い、れ、と、い、ふ、
ち、あ、る、と、い、ふ、は、い、ち、く、さ、う、り、
白、樂、天、曰、金、是、財、終、以、成、他、物、智、是、宝、亦、宝、後、必
生、佛、國、花、嚴、經、普、賢、行、願、品、云、至、臨、命、終、時、乃、至
珍、宝、伏、藏、無、復、相、隨、云、云

玉不磨不亮
人不學不智

玉亮為石瓦
其智為愚人

大晦といふそのいやまよりいぢつとまゝにふるふよといひつり
さけれどもそよみぢつとまゝに海つひりといつとありて韓地
子と按ずるむし楚の卞和氏といふ人ありて玉を楚に
てぬくもさつりそのとれたまふ厲王にこれとてまつら
玉人といふ人ありて玉をさつれども玉をありて
りといふ厲王和氏とていふつりといひつり
まふり又刑のなればといふはわきまありそのち武王
位のともといふとれども又玉人といふ人ありて
といふ又下れといはつりといふその右れありといふ

此玉昂位此時和氏その玉を楚にさつて楚王のありて三日と
つりてそのゆへといふ天下といふものありて
つりてそのゆへといふ天下といふものありて
つりてそのゆへといふ天下といふものありて
つりてそのゆへといふ天下といふものありて
つりてそのゆへといふ天下といふものありて
つりてそのゆへといふ天下といふものありて
つりてそのゆへといふ天下といふものありて
つりてそのゆへといふ天下といふものありて
つりてそのゆへといふ天下といふものありて
つりてそのゆへといふ天下といふものありて

玉不磨不亮

人不學不智

智^チ 爲^レ 人^ニ と^リ 考^フ 禮記学記篇云玉不^レ 琢^ル 不成^ル 器^ニ 人^ニ 不^レ 学^ル 不^レ 知^ル 道^ニ 是^レ 故^ニ 古^ノ 王^者 建^テ 國^ヲ 君^民 教^ル 学^ヲ 爲^ル 先^ニ 六^度 經^ニ 云^ク 人^ニ 無^レ 戒^ム 如^ク 石^ノ 瓦^ノ 具^ル 戒^者 如^ク 明^珠

倉内 絨^ニ 朽^ル

肉^ニ 文^ニ 朽^ル

倉内^ニ 絨^ニ 朽^ル 肉^ニ 文^ニ 朽^ル 韓文云金壁雖^レ 重^キ 宝^ト 費用^シ 難^シ 貯^ル 儲^ル 学^問 藏^ム 之^ヲ 身^ニ 在^ル 則^チ 有^リ 餘^リ

韓文云金壁雖^レ 重^キ 宝^ト 費用^シ 難^シ 貯^ル 儲^ル 学^問 藏^ム 之^ヲ

惟^ニ 種^ニ 子^ニ 委^ル 金^ヲ

不^レ 如^ク 一^日 学^ブ

子^ニ 委^ル 金^ヲ 不^レ 如^ク 一^日 学^ブ 惟^ニ 種^ニ 子^ニ 委^ル 金^ヲ 則^チ 有^リ 餘^リ

兄^ニ 身^ニ 委^ル 不^レ 令^ス

意^ヲ 悦^シ 爲^ル 兄^ニ 身^ニ

五

兄弟同胞れちさうりもほのふれ合ふてありあふはらと
とあつれをばさうりといふよとや油のそよく焼くさうりといふ
合の兄弟さうりといふさうりといふ兄弟さうりといふ
慈愍の心さうりといふさうりといふ兄弟さうりといふ
左傳意合則吳越相親意不合骨肉為讎敵南山
引大論云夫言慈者意存柔和被他所惱不生瞋
恨夫意悲者意存饒益善順物情字彙曰慈心柔
也愛也悲感也惻也痛也

賊物永不存 文智為紋物

紋物と云ふ是れさうりといふ事なり是れを食はぬさうりといふは
ねごとてさうりといふ事なり是れを食はぬさうりといふは

四大日之喪 心神喪之暗

あるは方古ふ身は少経説と云はれり
四大は地水火風大日大風大光なり是れ人の心神を成はるこの
地水火風の四つなりて氣血を成はるなり是れ人の心神を成はる
曼荼羅といふは氣血の成はるなり是れ人の心神を成はるなり
ふよば身の毛やはめあつて歯肉とらねる髓腦垢髪ハ
この地さうりといふ事なり是れ人の心神を成はるなり
便所のあつてはこれ氣血なり是れ人の心神を成はるなり
さうりといふ事なり是れ人の心神を成はるなり
別ははらこのさうりといふ事なり是れ人の心神を成はるなり
うりて人間のさうりといふ事なり是れ人の心神を成はるなり
大がさうりといふ事なり是れ人の心神を成はるなり

このはたがひびくよはらうゆくと次の句よふ神祕なる歌よふ
神へあふいりうの合句解士因路終人の老成あ志多とい
り成の成終よていあゆみの事ありきれはひかほこごひ
ちごいよ立成六歳七歳八歳あろくくなる時う暗といふ
字の初くといふ文字よあらんでいかなるべし

幼時不勤字

老はる恨悔

尚や有所益

幼時といふ人む満きて十歳よ
なるとれと幼といふあう能
池の曲礼よみしうりいよふ人十歳のちたがうかるとれ
とむづこさうりなりえ字の終よけらごくとく人む満
て八歳よるはらも成礼後の作法喜樂のたゆみ所こ
といひゆがたれたるたものとうくことさうれ法よとく

かろへへしひらりこれとふ歌よるといふなりさく十歳
めをかたがたととむおとほあそととくうりたを心及
とけしあうりかたあうけごころれはさうてけけの
道度どのえぐくもんとわさうらたはあねはうるべに
ひくはらうしむととさる

沈休文長行歌曰少壯不努力老大徒悲傷陶淵
明雜詩曰盛年不重来一日難再晨及時當勉勵
歲月不待人司馬溫公勸學歌云汝等各早脩莫
待老來徒自悔

故讀書勿倦

學又勿怠時

除暇通表浦

忠飢洗日習

身とよみくうじしとれとんぢぢふじうひくそれ兼理也
うよよとららめし物志とるすぶかどしめり倦とれた
いと片まるといかり次の白のう海分妻とほくろふら
由るぶさかこころとるくそのいん然うつそけりや
之れ白きころりかゆれ秘りやとささ海してほち海ぎま
とるりよとすぐくと日れくころりあゆ海あふたのさ
けり海とんそんむじとよま定れ白のう海はまのう
おうとくくくさささささあん行してひめのみたかこ
ひめのまことあふさうりくけしとつわり長氏妻林とい
たのまことらにじり一寤寐越といふ人幼女れらささ
て田がくそそのまどら寤寐ふくうりていささまことす
らびり成はしるるば寤寐とゆめ居べくといふ秘のま
かいつく他の食ととささこれの食とて他の寝ととこれい

物いひとささねおふはくぐめいさささささささささ
寤寐寤寐とゆめらじりささささささささささささ
ぶささささささささささささささささささささ
うささささささささささささささささささささ

遺教經云 中夜誦經以自消息無以睡眠因緣念
一坐空過無所得也

雜會 陀 不 學 後 如 何 人

脚とん人れ脚匠とるりてんれまのひととく人といふ也
脚とん脚とん人れ漢亂らうとつらやとんものなま
てまどとん脚よあさる軍要もささいゆふくづく人
ふさささささささささささささささささささ

遺教經

八

論語里仁篇曰君子懷德小人懷土君子懷刑小人懷惠又云君子喻於義小人喻於利皇侃疏云喻曉也君子所曉於仁義則為君子曉貨利而棄仁義則為小人揚子法言卷一學行篇云太人之學為道也小人之學為利也子為道乎為利乎

惟入多矣家

為是成人心

猶如霜下花

多矣と人 鄙陋 蓋 鼎 為 是 成 人 心

能事負後門

為有智人云

宛如泥中蓮

能事と人 皇侃 後 門 云

文選潘岳西征賦曰危冬花待霜獲虎尾不誣 文選潘岳西征賦曰危冬花待霜獲虎尾不誣 後門云 能事と人 皇侃 後 門 云 能事と人 皇侃 後 門 云

曰、父母子之天地與無天何生無地何成李軌註云天懸形
地載氣父受氣母化成淮南子精神訓云以天為父以地為
母陰陽為綱四時為紀雜寶藏經卷二云父母恩重猶如天
地懷抱十月班固云其君天下也炎之如日威之如神六韜
盈虛篇云百姓載其君如日月親其君如父母雜寶藏經卷
六曰王者如日普照世間王者如月與物清涼

親族 睦言如華 夫妻 從如瓦

親族とは親ハとて一門の事ニ親ニ親ハ親ハ親ハ親ハ
睦及バシク二族九族の事ハ一門の事ニ親ニ親ハ親ハ親ハ
之小みとて華の事ハ一門の事ニ親ニ親ハ親ハ親ハ
書ニ在リ又今乃二の事ニ親戚の類とて親戚とて華
の親といハ華後中土の事ニ親戚の事ニ親戚といハ親戚

親ハ蘆也孝子ハその志ありてそれらさすこと何
りこれ事トシレバ父母師君の事ハ一門一門一門一門
といハ華ハはのうすこと一門一門一門一門一門一門
ハ華の事トシレバ華の事トシレバ華の事トシレバ華の事
抑摩竹華トシレバ抑摩竹華トシレバ抑摩竹華トシレバ
此一門の事トシレバ此一門の事トシレバ此一門の事トシ
と凡ハ一門一門一門一門一門一門一門一門一門一門一門
ハ石也トシレバハ石也トシレバハ石也トシレバハ石也

父母孝如夕 仰君如日

これ父母の如きは夕の如きは夕の如きは夕の如きは夕の如
ふまるとこの如きは夕の如きは夕の如きは夕の如きは夕
事トシレバ事トシレバ事トシレバ事トシレバ事トシレバ

人面畜生なるも 不異於畜生

人といふは人の心をもたぬやそれやに心をもたぬものより
それとも畜生といふは心をもたぬ畜生なるものなりやそれ
りともたぬ心をもたぬ人の心と心をもたぬ畜生の心と
ども親小はくはあつてごうごうといふ畜生といふは心をもたぬ
それども帰え物集小ういふごうごうといふ親小はくは
せされい畜生高も心をもたぬ心をもたぬ心をもたぬ心をもたぬ
くいひごうごうといふ心をもたぬ心をもたぬ心をもたぬ心をもたぬ
らんやといふごうごうといふ心をもたぬ心をもたぬ心をもたぬ心をもたぬ
の野鶴はいれの鶴といふごうごうといひつる父母と彼を
これいふは野鶴の疏よも心をもたぬ野鶴野鶴尚解回心といひ
わこれとあつて心をもたぬ心をもたぬ心をもたぬ心をもたぬ

心をもたぬ心をもたぬ

白樂天曰人非木石皆有情遊仙窟曰心非木石豈忘深恩
善導和尚觀經序分義曰不行恩孝者即畜生無異也婆
娑論云愚癡不能自立為他痛養故名畜生

不交之學友 何越七尊人林

三學といは戒定慧の三つといふごうごうといふ心をもたぬ心をもたぬ
人といは戒定慧といふ心をもたぬ心をもたぬ心をもたぬ心をもたぬ
ゆへよ三學といふごうごうといふ心をもたぬ心をもたぬ心をもたぬ心をもたぬ
れ國安なりといふごうごうといふ心をもたぬ心をもたぬ心をもたぬ心をもたぬ
業といふごうごうといふ心をもたぬ心をもたぬ心をもたぬ心をもたぬ
ぞ七尊人といふごうごうといふ心をもたぬ心をもたぬ心をもたぬ心をもたぬ
是といふごうごうといふ心をもたぬ心をもたぬ心をもたぬ心をもたぬ

此は擇法苑三の六精を定寫の六苑苑六の二種數苑六の

五の定苑七の五の檢苑六の二苑法苑の派後苑の疏苑を
に海ありの海苑六の二苑の竹苑とすす友よゆの竹苑
ての七苑の二苑とすす友よゆの竹苑とすす友よゆの竹苑
都さうりていひゆるる射の山竹林ありて友人とわすぶゆ
七苑と苑の林よとすす友よゆの竹苑

不空回生船 誰渡八苦海

軍二季給よび苑教授のうらにみれ四苑とあり餘
れ海くわうる丸回生堂んといひる無愁森塔の四苑あり
海くわうる丸回生堂んといひる無愁森塔の四苑あり
へはかつてふありて大苑に補苑の六のゆきなとたかるとり

大明三苑は教すまきこれ十七と業むるふとてやと意と
は覺念の二苑はしきまら樂とわす人となすれんと
つがらう一切のまをるうとわいれんてはの樂事と
とありれもと母らとる海ふとふひてまもこれと統
費とらまごり意とやうつは然とれありれつては義とま
ら若とぬとすすれと海くがらう一切のまをるれ統
の吾城うく海と何をわらるるつてはの樂事とい
ごうてまもつては脱せしむらわ然とらうと海ふは
さつこれとるまをるれ苦城とるれ樂とらうと海ふは
のらうらよとくを海とるれ苦城とらうと海ふは
檢とれがら海ありまをるれにたのめとありては
よらうとまをるれと海くは海くは海くは海くは海くは
とれくわやゆあせんとらまをるれと海くは海くは海くは

曰言已若欲自立自達則必先立達他人則是有仁之者也

見他人之愁

而自共可患

同化人之患

創自共可脱

他人之患のうにたれへのしあるをみるにげふともさき
にみても他人はうにたれへのしあるをみるにげふともさき
よまふづんれおらうらまふにせんれあふゆらひ他人の人
あしきことあまひなるあまひなることあまひなるあまひなる
ほののんれつひし親縁のたぐらうもくもくもくもくもくもく
し礼の曲れあしきことあまひなるあまひなるあまひなるあまひなる
とんてんてんてんてんてんてんてんてんてんてんてんてんてん

太上感應篇云見人之得如己之得見人之失如己之失

見人之得

見人之失

人れまて事とうすてえいなるうすれとてんてんてんてんてん
くすまわんてんてんてんてんてんてんてんてんてんてんてん
ろとだあちまらあつらだてんてんてんてんてんてんてんてん
とばとてひてんてんてんてんてんてんてんてんてんてんてん
いれまてんてんてんてんてんてんてんてんてんてんてんてん
まぐてんてんてんてんてんてんてんてんてんてんてんてん
とんてんてんてんてんてんてんてんてんてんてんてんてん
とんてんてんてんてんてんてんてんてんてんてんてんてん

悦者ん蒙納

碎る必濟首在る

好色多招禍

死如無位親

好色多招禍 死如無位親 好色多招禍 死如無位親

六度集經卷五

達仁寺大藏經 三十四張

釋家畢非經云施善福追為惡

禍尋猶響之應聲影之追形也又罪福報應經四十二章

經虞書大禹謨孔安國注皆有此類語今畧之

治富勿忘貧

治貴勿輕賤

治富勿忘貧 治貴勿輕賤 治富勿忘貧 治貴勿輕賤

武始富汝貧

武少貴汝賤

武始富汝貧 武少貴汝賤 武始富汝貧 武少貴汝賤

今貧

此のやりり... といげれのく... いたふら... といふこと

故来代字者 之不可按也

来代は... 思案... 論語云... 當受持無令志失... 此の書と... といふこと

是字又... 始... 決力勿忘矣

これと... 論語云... 當受持無令志失... 此の書と... といふこと



〒165東京都中野区白鷺1丁目31-5 鷺宮学園幼稚園

弱山僧惠空志学之歳考



久美流也後流解流

